



東京国際空港国際線地区エプロン等整備事業

# 国際線エプロンにおける国の監視業務について

関東地方整備局  
東京空港整備事務所  
PFI事業推進室 鈴木 夏雄

# 発表内容

- 1 . 本事業の概要・特徴
- 2 . 本業務の監視業務の必要性
- 3 . 従来工事とPFI工事の比較
- 4 . 本事業の監視業務内容
- 5 . PFI事業のリスク事例
- 6 . まとめ

# 1. 本事業の概要・特徴(国際線地区PFI事業)



事業名:東京国際空港国際線地区エプロン等整備等事業

事業期間:平成18年3月24日~平成47年3月31日

契約金額:約520億円

事業者:羽田空港国際線エプロンPFI株式会社

# 本事業の特徴

## 大型土木で初のPFI事業

我が国初の大型土木  
インフラPFI事業

## エプロン以外の多種事業

エプロン等の基本施設に加え、  
航空保安施設、構内道路・駐車場、  
共同溝、上下水道等の整備も  
含めた事業

## 多種多様な関係事業者

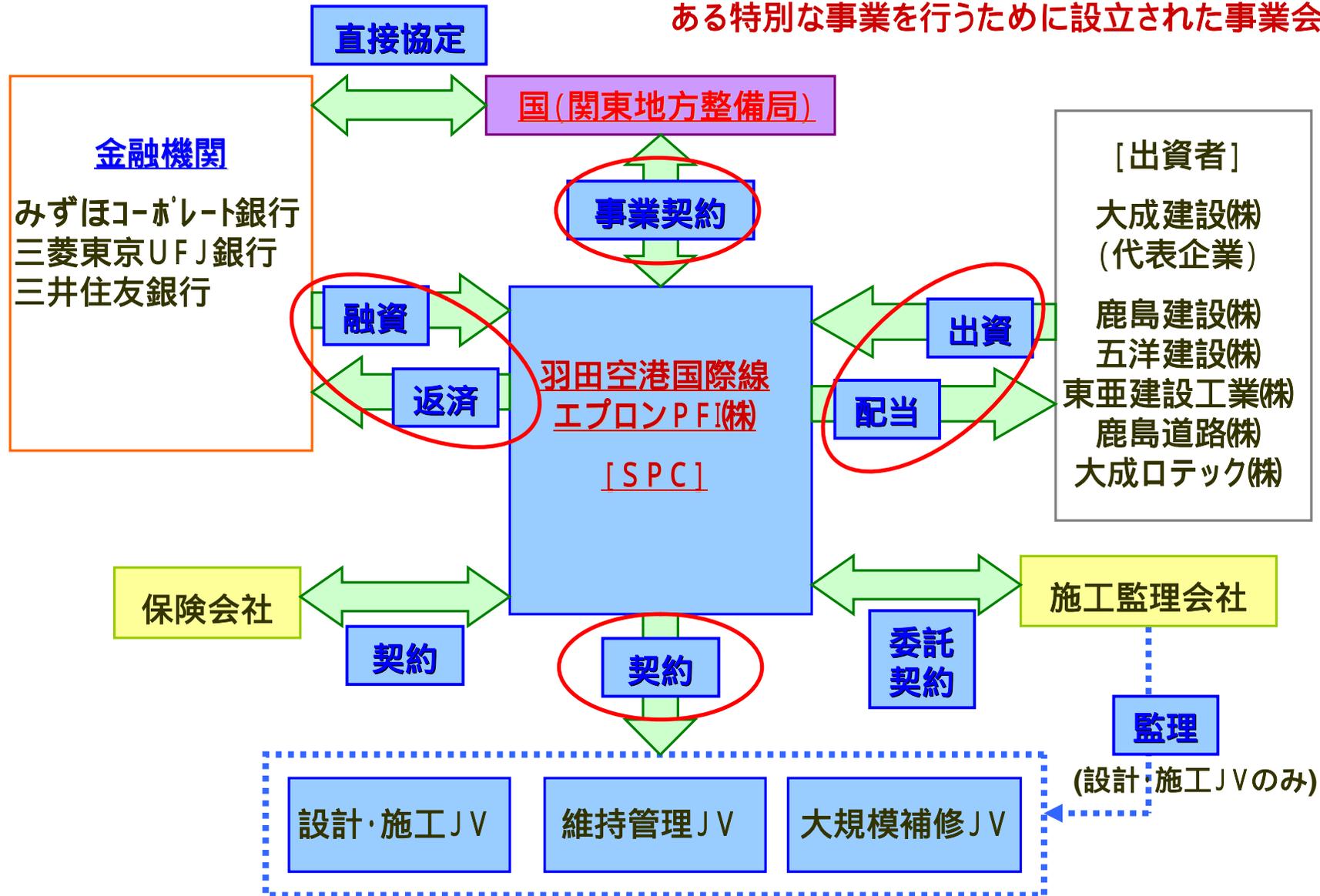
多数の事業者の工事が輻輳する  
ため、多種多様な調整が必要  
[関係事業者連絡会の実施]  
(13事業者)

## 重要な地下構造物の存在

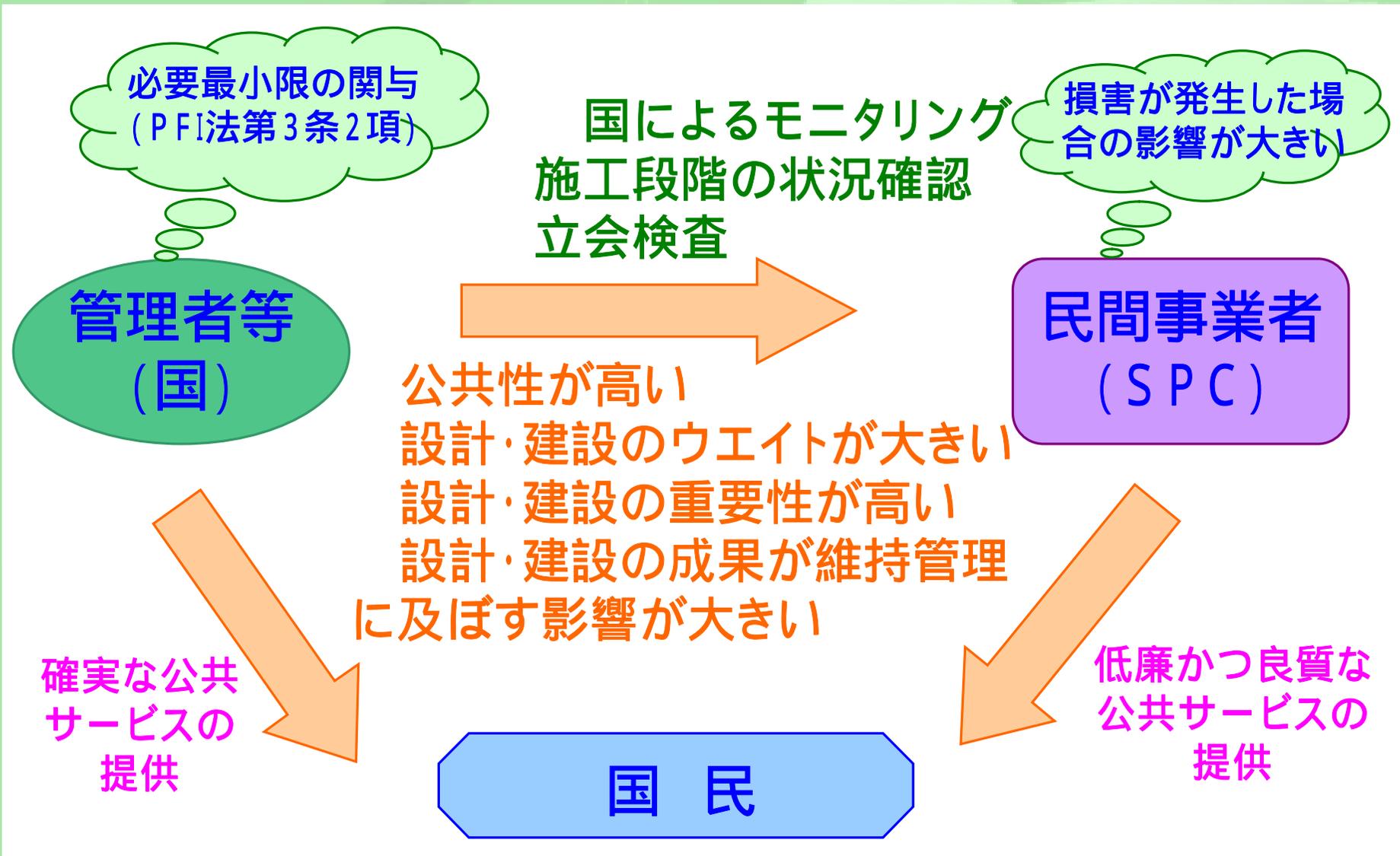
重要な地下構造物があり、施工  
制約が多い事業  
[鉄道、航空給油管の存在]

# 事業スキーム

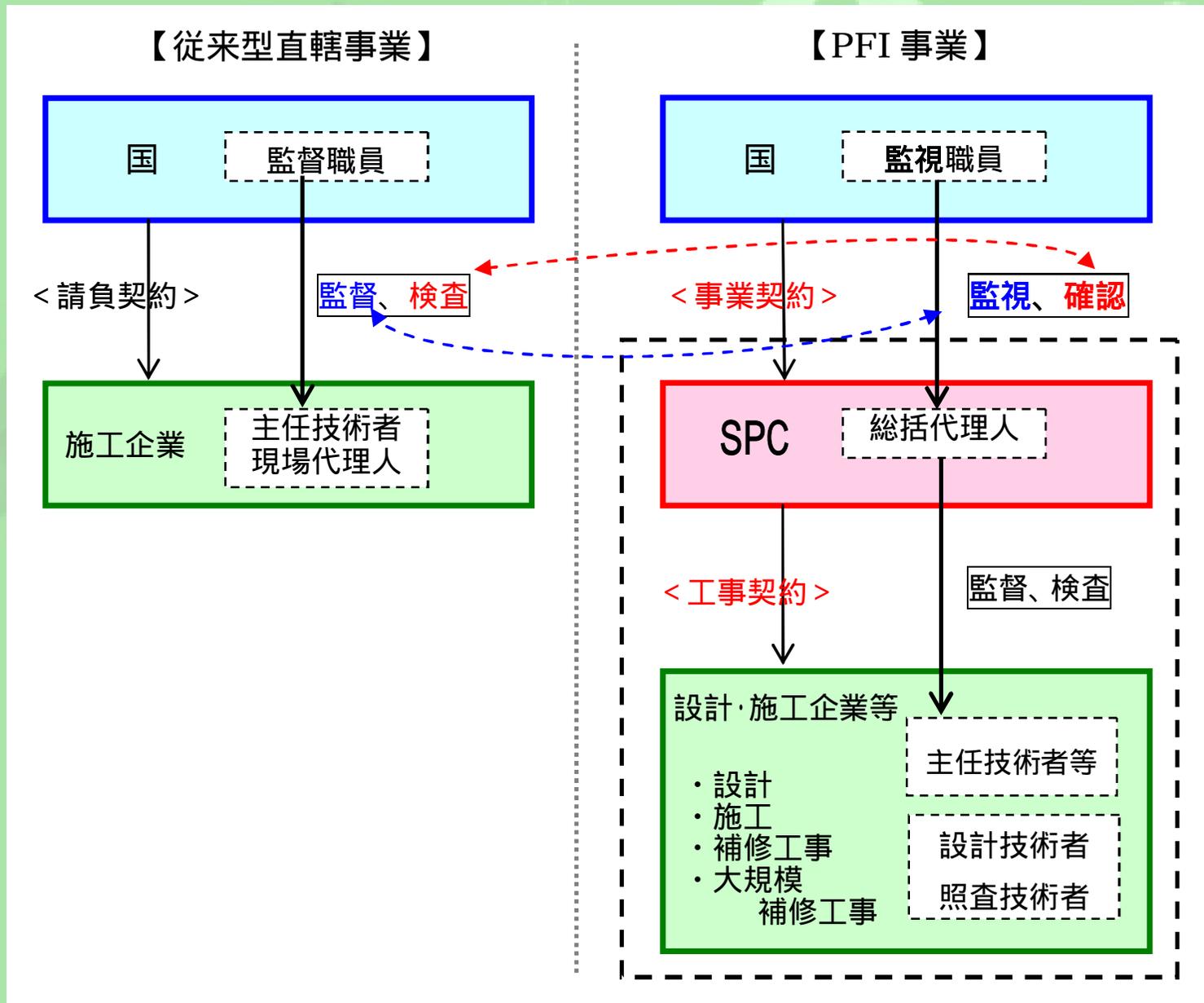
**SPC: 特別目的会社 (Special Purpose Company)**  
ある特別な事業を行うために設立された事業会社



## 2. 本事業における監視業務の必要性



### 3. 従来工事とPFI工事の比較



## 4. 本事業の監視業務内容

### 工事に関する監視

- (1) 施工状況の段階確認及び立会
- (2) 近接施工に求められる監視
- (3) 新しい技術・材料に対する施工の确实性、安全性を確保する監視
- (4) 事業者間の調整が重要な監視
- (5) 許認可手続きへの監視
- (6) 環境保全への監視
- (7) 環境施策の推進への監視
- (8) 安全管理への監視
- (9) 関係法令の監視

### 維持管理に関する監視

- (1) 維持管理段階の監視
- (2) 補修工事の監視
- (3) 大規模補修工事の監視
- (4) 維持管理システムの活用

### 財務に関する監視

- (1) 財務諸表関連の書類等の監視

# 施工状況の段階確認及び立会い状況



京急トンネル剥落防護



S G M供試体 一軸圧縮試験



鋼管杭打設(GSE橋梁)



しっかり立会い、  
きっちり確認

## 5. PFI事業におけるリスク事例

「タラソ福岡」事業 (H14.4開業) 福岡市初のPFI事業

- ・福岡市臨海工場の余熱を利用した健康増進施設
- ・PFI事業者が経営破綻し事業が中断

(平成16年11月末 施設閉鎖、  
平成17年4月 営業再開)



リスクの認識不足

管理者

民間事業者

融資者

「スポパーク松森」事業 (H17.7開業) 仙台市初のPFI事業

- ・ごみ焼却の余熱を利用した健康増進施設
- ・宮城県沖地震により、天井崩落事故発生 (H17年8月)  
人身事故 (35人負傷、内2名重傷)

(平成17年8月 施設一時閉鎖  
平成17年12月 全面運営開始)



温水プールの天井

～ 事故原因 ～

耐震性への配慮不足  
施工体制へのチェック機能不足

適切なリスクマネジメントの欠如

## まとめ

事業者と建設施工者や運営・維持管理会社等の責任だけでなく、**管理者の責任も問われている。**

PFI事業は、長期契約で設計・施工・維持管理と一括契約されている。そのため、設計から維持管理までの**トータルな専門知識を持って、監視にあたる必要がある。**

国として確実な公共サービスを国民に提供するためには**十分な監視**を実施することが、本事業の推進において重要である。

**以上より、有識者やアドバイザーの助言や指導を受け、監視を実施することが重要である。**